（様式）

学校名　あきる野市立増戸中学校

令和７年度　　文芸部の指導方針等について

令和７年６月１１日

１　指導体制

顧問教諭　２名

２　年間目標

（１）学校の教育目標を受けた目指す生徒像

学校の教育目標である「進んで努力する人」を受け、根気よく作品制作活動に取り組み、よりよいものを作るために努力を惜しまない生徒の育成を目指す。

（２）競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

作品集の発行、文芸作品コンクールへの応募を目指して、日々制作活動に取り組む。

（３）地域貢献の特色ある目標

本の紹介文を作成し、学校の図書館や廊下に掲示して読書活動推進の一役を担う。

３　指導方針

（１）部活動の質と量の工夫

学校での活動は、木曜日と金曜日の週２日とし、集中して制作活動に取り組む。
部活動のない日は、自宅において作品の構想を考える。

（２）練習や試合等の計画

年に１～２回、スキルアップのために文芸作品コンクール等に応募する。

（３）基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、正しい言葉遣い、コミュニケーション能力の育成を図る。

（４）生徒相互の人間関係

数名のグループで作品を作る機会を設けたり、お互いの作品を鑑賞する機会を設けたりすることで、相手への思いやりや意思疎通を図るコミュニケーション能力を養う。また部として作品集を作成することで、個人の責任力を身につけさせる。

（５）学習と部活動

週２日の活動日なので、学習時間は十分に確保できると考える。

４　指導内容・方法

（１）生徒の人権に配慮した指導

生徒の人権に配慮し、作品内容については生徒と話し合い決定する。また、他者の人権に配慮した作品作りを行うよう指導する。

（2）生徒間の暴力防止
決して許さず、生徒の様子を把握し日頃から指導を徹底する。

（3）外部指導員の活用

（4）事故防止・安全配慮
生徒の心身の発達段階を適切に把握し、活動計画を立てる。

5　主な年間計画

学　期	月	内　　容
１学期	4	新入部員歓迎のための作品集作成
	5	共同作品制作・発表
	6	個人作品制作・発表・作品集作り
	7	
	8	
２学期	9	新体制での共同作品制作・発表
	10	個人作品作成・発表
	11	（川柳等のコンクールへの応募）図書館司書との連携
	12	ブックトーク（本の紹介文作成）
３学期	1	文芸コンクール応募に向けた作品作り
	2	
	3	作品集作り